

ほんべつ 議会たより

No.108

2024年(令和6年)
2月1日発行



次代を担う子どもたち 明日へジャンプ!!

1月14日 バレーボールフェスティバル

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 



令和5年度 とかち創生学 模擬議会

本別高校2学年による議会提案

3回目の開催となる、本別高等学校2学年による総合的な探究の時間「とかち創生学・模擬議会」が12月19日、本会議場で行われました。

模擬議会では、生徒が説明員席（通常の議会では特別職、課長職が座る席）に着き、とかち創生学で取り組んできた、生徒が考える町の課題に対する解決策を議員に提案しました。

提案された5つのプロジェクトについて、提案内容と質疑応答の一部を紹介します。

人口減少について



人口減少の問題を解決するために、音楽フェスを開催し、まちの魅力発信や経済効果、地域活性化を目指します。

問 フェスの開催による人口増は、どのくらいを見込んでいますか。

答 フェスの開催によってまちの認知度が向上し、経済効果が巡り巡って人口増につながると考えますので、直接的な人口増は見込んでいません。

 今回の提案が具体化され、3月10日に中央公民館で音楽イベントが開催されます。

消えゆく本別での豆腐づくり

町内の豆加工品を製造・販売する団体が高齢化等により活動継続が困難であるため、商品開発や販売で後継者不足解消につなげます。

問 後継者不足等を伝えるために、効果的な方策はありますか。

答 きらめきタウンフェスティバルなどのイベントを通じて、豆腐を作られている方の生の声を伝えていければと思います。



本別町の消えゆく仕事

後継者や技術の伝承によって、まちの仕事をなくさないために、SNSを活用して仕事の内容や後継ぎ募集を宣伝します。

問 取り組みを通じて、仕事というものに対して、どのような考えを持ちましたか。

答 仕事だけでなく、地域への思い、社会へ貢献していくことも仕事にとって大事ななと考えました。



大豆ミートを普及・浸透させる

大豆ミートがあまり普及していないことから、レシピを考案し、取り扱う飲食店を増やし、認知度を高めます。

問 町民や町内の飲食店の方々に向けた具体的な取り組みはありますか。

答 私たちが考案したレシピを自宅などで1度作っていただきたいなと思います。



本別町の社会減を食い止める!!

本別町の人口は、自然減よりも社会減が大きく影響している中、SNSを活用した情報発信により社会減の抑制を図ります。

問 SNSが人口に与える影響はどのように捉えていますか。

答 写真を投稿することでまちの魅力が伝わり、社会増が続いている町村もあることから、よい効果が生まれると考えます。



12月13日、本別高等学校1学年のうち33人の生徒が探究学習の授業の一環として、議会の一般質問の傍聴を行いました。

9人の議員から11問

町政を問う!

一般質問



農業

しごと体験交流館の農業現場での有効利用は
答 SNS等を活用しながら情報発信していきたいです



丑若浩行議員

丑若議員 ①施設の利用状況と、これまでどのようなPRを行ってきたか伺います。

②農業は慢性的な人手不足ですが、一方で、本州から旅行を兼ねてバイトをしながら一定期間十勝に滞在する若者たちも存在します。

1日農業バイトというアプリを利用しての旅行兼バイトは、今後ますます増えることが見込まれるところです。本別町にバイトを通して滞在してもらい、農業の人手不足解消にもつながる施設のPRや



本別町しごと体験交流館

人手不足解消を目指して有効利用を要する。SNS等を活用し、利用者もPRできるよう情報発信していきたいと思いま

利用対象要件の拡充が必要と考えますが、見解を伺います。

佐々木町長 ①しごと体験交流館は令和元年に開設し、これまで延べ人数で953人の利用があります。令和5年度はPR等の不足もあり、昨年度までの稼働を下回っている状況です。

②利用要件は、本別町においての就労体験等の研修計画を持った個人及び団体ということになっておりますので、



教育

どう伝える？子どもへの防災教育
答 学校防災計画の下、一日防災学校等を実施しています



水谷令子議員

水谷議員 本町の防災教育の取り組みと考え方を伺います。

①各小中学校の具体的な防災学習の取り組みと、消防署や町の防災担当のサポート体制は。また、先生への防災研修、講習が必要と考えますが、見解を伺います。

②本別高校では、タブレットを活用した防災訓練を行っており、町内小中学校との合同訓練を希望する声も聞きます。連動した取り組みができるようなサポートが必要と考えますが、町の見解を伺います。

高橋教育長 ①学校防災計画の下、避難訓練、一日防災学



小さい頃から防災意識を (中央小)

校を実施し、町の防災担当による防災講話、避難所運営ゲーム、段ボールベッドなどの設営体験、備蓄用非常食の試食など、教職員も含めた意識向上に取り組んでいます。教職員への研修、講習は別途必要であれば開催を検討します。

②小中学生もタブレットを一人一台持っていることから、情報の共有や連動した取り組みなどを研究していきます。

健康被害救済制度とは…

予防接種法に基づく予防接種を受けた人に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。申請に必要となる手続き等の相談は、予防接種を受けられた時に住民票を登録していた市町村となります。

ものしり博士が



福祉

ワクチン接種における健康被害対策を 答 国と連携しながらしっかりと対応していきます



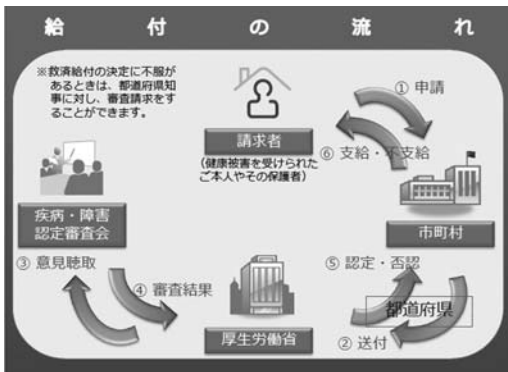
宮本やよい議員

宮本議員 新型コロナウイルスワクチンにおける健康被害救済制度は、2023年11月29日時点で健康被害認定数5,357件、うち死亡377件となっています。

本町にも推奨したワクチンによって、健康被害を受けた人がいます。しかし、制度を知らない人が圧倒的多数です。
①このような人のサポートや申請を担当するのは町の窓口です。窓口や制度を分かりやすく広報一面に載せるくらいすべきでは。②接種記録の保管期間は5年と義務付けられています。ワクチンによる被害

者を誰一人取りこぼさないために、本町も延長しては。

佐々木町長 ①ワクチン接種後、申請に関する窓口等を記載したものを渡している他、ホームページでも周知を行っています。今後、必要な救済措置についても国と連携しながらしっかりと対応していきます。②記録の保管期間は今後協議していきたいです。



気になる人は、まず相談を

高齢者の補聴器購入に助成を

答 調査・研究を進め助成制度の必要性を判断します



高橋利勝議員

高橋議員 歳を重ねることによって肉体の衰えが進みますが、その一つに聴覚の衰えがあります。最近はこの聴覚の衰えが認知症の発症に結びつくという声もあり、そのために補聴器をつける高齢者も少なくありません。

自治体によっては、高齢者の皆さんの積極的参加や地域交流を支援することも、健康増進と認知症の予防等となることを目的として補聴器の購入費を助成しています。本町としても、高齢者の皆さんの補聴器の購入経費を助成する制度を設けるべきだと思いますが、考え方を伺います。

佐々木町長 障がい者手帳を持たない高齢者への補聴器購



聴力アップで衰え防止

入助成につきましては、国や道の補助制度がないため、補助を実施している自治体の支給基準や支給額はあのおのな状況にあります。

聴力障がい者に支給している補装具費の制度内容と均衡を図る必要があることから、調査・研究を進め、助成制度の必要性を判断したいと考えています。

暮らし

物価高騰に効果的な支援を

答 速やかな対応を進めたいと考えています



柏崎秀行議員

柏崎議員 物価高騰が続き、町民の暮らしに大きな影響を与えています。いまだ先行きの見えない中、全体的な支援が必要と考えます。

① 地方創生臨時交付金や、国・道からの予算の見直し、執行状況を伺います。

② 物価高騰で苦しんでいる全町民を対象とした支援策が急務だと考えますが、見解を伺います。

佐々木町長 ① 臨時交付金は総額9,350万円で執行済み額は全体で6,157万9,892円となっています。追加で示された重点支援地方交付

金約3,000万円を活用しながら施策検討しますが、交付金の額にこだわらず必要な施策を検討して、実行したいと考えております。

② 今まで実践してきました支援事業が終了次第、次の支援策を講じてまいりたいと考えています。今の経済状況を把握しながら速やかな支援策を講じて、何がなかどこに重点的に配分するのか検討中です。



みんな待ってる！生活支援

特別養護老人ホームの在り方は十分な議論等を

答 新設ではなく改築で維持運営してまいりたいです



梅村智秀議員

梅村議員 特養は現在の計画を前倒しして令和8年度に供用開始を目指すと考えています。

① 令和5年12月5日に突如として規模決定や予算編成の延期が報告されました。特養の在り方については十分な議論等が必要で時期尚早ではないか。出来得る限り費用をかせげずコンパクトに、今後の変化に対応しやすいようにしていく必要があります。

② 人口減少が今後の特養の在り方に大きな影響を及ぼすと捉えられています。本町の人口減対策として具体的、効果的、即効性のある政策はありますか。

③ 町内民間の介護サービス事業所への配慮も重要であり、



令和8年度供用開始は改築で

特養との利用料差額を補てんする体制づくりなどが必要で

す。

佐々木町長 ① 十分な議論を行ってきたという認識です。スケジュールより多少ずれてはいますが、令和8年度供用開始はできると考えています。新設ではなく改築で、減床し維持運営してまいりたいです。

② 人口減対策に即効性のあるものは現時点ではないです。

③ 町内事業者の持続可能な運営として、今後検討のひとつと考えております。

震災を教訓にした防災体制を

答 消防庁舎建て替えの際に防災減災体制の強化を図ります



加藤徹己議員

加藤議員 近年の震災は想定を超えています。震災を受けた自治体などの教訓を活かした防災体制の強化が必要と考えますが、見解を伺います。

①大規模震災などでは、安全な場所に備蓄資機材の大型保管施設が必要では。②主要避難所には、要配慮者が必要とするトイレの設置が必要では。③防災行政無線戸別受信機の普及率向上と他の手段併用の強化が必要では。



拡充が望まれる防災体制

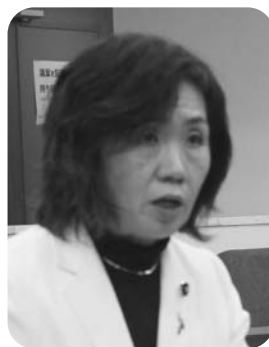
機の全戸設置を前提としていませんが、他の伝達手段を併用し、漏れの生じない情報伝達手段の強化、多重化に向けての調査、検討を進めます。

佐々木町長

①備蓄品は複数の施設に分散保管しており、有事の際には各避難先へ備蓄品の調達が容易です。町体育館などは浸水想定区域内ですので、将来的には、消防庁舎建て替えの際に防災対策機能を持たせ、防災や減災体制の強化を図ります。②レンタル業者に仮設トイレ設置依頼を想定しています。③戸別受信

書かない窓口の体制整備を

答 利便性向上に向けた取り組みに努めます



藤田直美議員

藤田議員 各種申請や届出において書面に記入する作業が多く負担になっています。書かない体制にすることで記載台が無くなり、事務時間の削減や来庁者の手間を省くサービスとなります。

①手続きの簡素化についての考えは。②様々な困難を抱えている人が暮らしやすい町になるよう、コンビニや郵便局でも証明書発行など積極的に取り入れるべきでは。③各種申請に関わるデジタル化の取り組みと課題は。

佐々木町長 ①さらなる手続きの簡素化や行政手続きのデジタル化は喫緊の課題と捉え、利便性向上に向けた取り組み

に努めます。

②休日や夜間など閉庁時間帯に証明書が取れることは大きなメリットです。先進事例を参考に導入に向けた取り組みを進めますが、十分な検討が必要です。

③住民システムの標準化を見据えたDX化を検討しています。令和6年度は規則等全ての見直しを行っていく中で、デジタルに置き換えることが可能なものを洗い出し、順次検討を行います。



行政DXで手続きの簡素化を

関係人口増を目指す取り組みを

【答】ふるさと納税は認知拡大の施策と捉えています

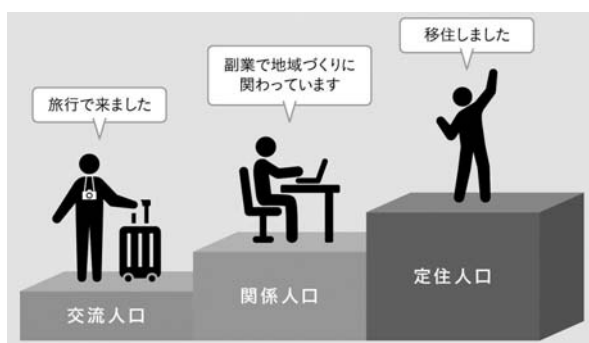


阿保静夫議員

阿保議員 関係人口とは、地元と本町という2拠点居住をする人、本町にルーツや愛着を持つ人などを指します。本町も関係人口創出の取り組みを実施してきましたと考えます。

ふるさと納税の返礼品として来町招待を行うなども関係人口の創出につながるのではと考えますが、これまでの成果を検証し、今後の関係人口の創出を図る考えはないか伺います。

佐々木町長 関係人口の創出は、本別町総合戦略基本目標「本別への新しい人の流れをつくる」の核となる施策であり、現在も重要と捉え事業展開しています。



交流から定住を目指して

今年度はグランピングや電子宿泊クーポン、PayPay（ペイペイ）商品券などの返礼品を採用しましたが利用はゼロで、返礼品を介して本町の多様に関わる層へと高めることは極めて難しいものと判断しています。

ふるさと納税事業は、寄付をいただいた人をリピーターやファンとして高める認知拡大の施策であると捉えています。

まずは比較的安価な簡易的冷房機の導入を

【答】財源として調達可能なのか精査し検討を進めます

梅村議員 一年で全ての公共施設等にエアコンを設置することは財政的にも困難であるが、比較的安価で設置や移動が容易なスポットクーラーや窓用エアコンを購入し急場をしのぐことが不可欠です。

省エネ等で低炭素に効果的なものであれば有利な条件で購入できるものもあり、品不足や工事が集中する前に早期に手配を行うことが必要です。試験的にデモ機を借りてみる事なども効果的ですし、簡易的なものは移動や再設置が容易ですから災害時の避難所等にも使えます。

佐々木町長 庁舎は開放的な状況ですので、機器の性能として果たしてどこまで効くのか、十分考えた上で買うべきものは買うという手当をしておりません。

大きな問題は財源の部分でもあるので調達可能なのか、「安物買いの銭失い」となる

めよう、レンタルやお試しというものがあれば活用した上で当初予算や補正予算も踏まえ検討を進めます。



スポットクーラー（左）と窓用エアコン（右）



自治会と協力して夜の安全を

街路灯の維持は行政の責任と負担で

答 基本的には自治会の責任分も負担分もあると考えています

梅村議員 街路灯の電気料金は9割を設置自治会に交付、残り1割を自治会負担としていますが、その経緯や根拠が曖昧です。

街路灯は夜間の交通の円滑化や事故防止のために設置されるもので、個人宅等の防犯

を主たる目的としたものでない限り、行政の責任と負担で維持管理がなされるべきです。町が全額負担をすると自治会側、行政側の事務負担軽減にもなります。

また、自治会未加入者など町の小さな声にも耳を傾け、公道の交通安全、夜間の防犯を担っていく必要があります。

佐々木町長 行政の責任と負担において街路灯の維持管理を行うべきとの考え方もありますが、自治会の要望によって街路灯をつけているので基本的には自治会の責任分も負担分もあると考えています。

補助率の明確な根拠は調べても確認が取れませんが、負担割合については自治会に理解いただいた上で進めている事業です。小さな声は地域の中で合意が取れば地域の要望として捉えます。

令和5年

議会傍聴者及び議会中継視聴者数

会議名及び開催日	傍聴者	議会中継視聴者	会議名及び開催数	傍聴者	議会中継視聴者
第1回定例会(3/7~3/24)	24	154	議会運営委員会(18回)	3	
第2回定例会(6/6~6/14)	7	60	総務常任委員会(5回)	5	
第3回定例会(9/5~9/14)	11	105	産業厚生常任委員会(15回)	7	
第4回定例会(12/5~12/13)	47	75	広報広聴常任委員会(17回)	4	
小計	89	394	小計	19	
第1回臨時会(1/31)	2	35	予算審査特別委員会(3回)	2	83
第2回臨時会(4/26)	2	21	決算審査特別委員会(3回)	3	120
第3回臨時会(7/6)	1	15	議員協議会(12回)	0	
第4回臨時会(8/8)	3	12	町民懇談会(4会場)	29	
第5回臨時会(10/25)	9	12	小計	34	203
第6回臨時会(11/30)	2	16	合計	161	708
小計	19	111			

※YouTubeは生中継中の最大同時視聴者数の合計を計上。



第4回定例会

本別・浦幌生活維持路線などの 補正予算等を可決

令和5年第4回定例会は12月5日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。
審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

本別・浦幌生活維持路線

本別・浦幌の両町間を結ぶ予約制の乗合バス（タクシー）を運行しています。



本高生の大事な足

答 肉、野菜、パン類等すべてにおいて予定より価格が上がっており、献立や食材を工夫し経費を抑える努力をしていますが、安心安全で栄養バランスの取れた給食を提供するため増額しています。

病院事業会計補正

入院及び外来収益

上期の実績を勘案し、入院収益を1,460万円の減額、外来収益を2,383万5千円減額補正します。

問 入院、外来収益が当初予算と比べていず、それも下方修正されているが、その理由は。

答 入院では、患者数はおおむね予算通りの実績が見込まれるものの、8月にクラスターが発生した影響により、いつとき地域包括ケア病床の利用が極端に減少したためです。

介護従事者就業支援等補助金

介護従事者が町内の民間介護事業所へ就職する場合、就職支度金や就職後5年間の就業補助金等を行っています。

問 減額提案となった理由や背景は。

答 採用を6人見込んでいたところ4人にとどまり、3月までの採用の見込みもないこと、また中途退職者もいるため減額しています。

各事業所で募集はしているところですが、なかなか

学校給食

材料費

問 当初予算より387万4千円増額されているが、全て物価高騰によるものか。

問 利用者が当初の見込みより多く、マイクロボスの利用が増えていることだが、今後の利用見込みは。

答 浦幌町から通う本別高校の1、2年生が14人で、今年度中は今後も利用される状況は変わりません。人工透析患者の利用も定期的にあるので、安定した利用が見込めるのではないかと考えます。

人事院の給与勧告に伴い、

- ① 職員の給与
 - ② 常勤特別職の給与
 - ③ 議員報酬
- に関する条例の一部改正

条例改正・議員発議

開催日11月30日

第6回臨時会

選挙管理委員

- 小林 信雄 氏 (北2丁目)
- 山下 孔三 氏 (南2丁目)
- 齊藤 一成 氏 (チエトイ2)
- 太田 則幸 氏 (美里別東中)

選挙管理委員補充員

- 矢野 邦夫 氏 (勇足元町)
- 細野真由美 氏 (北1丁目)
- 西村 修一 氏 (北3丁目)
- 河合 篤史 氏 (弥生町)

以上の方に「決定」しました。(任期：令和5年12月23日から)

① 梅村議員
 本件に反対者の討論
 町内の賃金調査を行わず、役場のみ増額であれば町内の官民格差は広がるのみ。人事評価制度もあざなり。
② 宮本議員、梅村議員
 物価高にあえぐ町民感情からみても据え置きが妥当。

問 職員の給与について、人事評価制度はどのようなになっているのか。
答 人事評価は行っていますが、評価者により評価のばらつきがあるため、処遇反映には至っていません。処遇反映に向けた人事評価制度構築のため、検討委員会を設置し、協議検討をしています。

問 議員の給与について、人事評価制度はどのようなになっているのか。
答 議員の給与については、人事評価制度はどのようなになっているのか。

① 大卒・高卒初任給の引き上げ、若年層に重点を置きつつ、給与を平均1・1%引き上げ、期末手当と勤奨手当を0・05月分ずつ引き上げる内容です。
 なお、②特別職(町長、副町長、教育長)、③議員については、期末手当0・1月分の引き上げを行います。

① 高橋議員
 賛成者の討論
 物価高による実質賃金低下、公務員と民間労働者の格差も進んでいることから、給与の改正は当然である。
② 高橋議員、柏崎議員
 人事院勧告に準じること、暮らしを守るのみならず、特別職に憧れる職員が増え、町の発展につながる。
③ 水谷議員、柏崎議員、石山議員
 物価高による影響を受けているのは議員も同じ。報酬額の議論は今後検討されるべきで、改正に賛成する。

① 高橋議員
 物価高による町民生活の厳しさを議員も共有し、生活給ではない議員報酬の実質上の増は必要ない。

② 宮本議員、梅村議員、丑若議員
 物価高による町民生活の厳しさを議員も共有し、生活給ではない議員報酬の実質上の増は必要ない。

評価される具体的成果を出した上で増額されるべき。
③ 宮本議員、梅村議員、丑若議員
 物価高による町民生活の厳しさを議員も共有し、生活給ではない議員報酬の実質上の増は必要ない。



可決

令和5年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(1億4,836万4千円) 76億8,440万1千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 特養施設建て替えの基本構想策定に係る経費などの増 (定例会)
特別会計	(△57万7千円) 10億5,435万7千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 事業費確定による減額と実施見込みによる増 (定例会)
	(234万3千円) 11億6,829万8千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 介護保険制度改正に伴うシステム修正などによる増 (定例会)
	(△468万6千円) 3億3,904万1千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 人事異動等に伴う人件費の調整による増 (定例会)
	(152万7千円) 1億5,280万9千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 施設修繕料の増および基金繰入金、繰越金の増 (定例会)
水道事業会計	(△164万3千円) 5億1,379万1千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 委託料執行残の減など (定例会)
水道事業会計	(△87万1千円) 2億4,573万1千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 委託料執行残の減など (定例会)
病院事業会計	(△376万5千円) 13億6,758万9千円	人事院勧告に伴う増と退手組合負担率変更による減 (臨時会) 上期実績による調整などによる減 (定例会)

※第6回臨時会(11月30日開催)含む



賛否の分かれた表決

令和5年中に開催された本会議では、町提出議案97件、議員発議2件、意見書5件など合計138件の採決が行われました。今回掲載するのは、本会議中に賛否が分かれた議案（特別委員会と無記名投票による採決は除く）となります。

議決日及び議案名		議員名及び議決結果											議決結果	
		宮本やよい	加藤徹己	丑若浩行	水谷令子	梅村智秀	石山憲司	藤田直美	方川一郎	高橋利勝	阿保静夫	柏崎秀行		篠原義彦
定例会 3/7	令和4年度本別町一般会計補正予算（第20回）	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
定例会 3/7	令和4年度本別町国民健康保険病院事業会計補正予算（第9回）	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
定例会 3/24	令和5年度本別町一般会計予算	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
定例会 3/24	令和5年度本別町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
定例会 3/24	令和5年度本別町介護サービス事業特別会計予算	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
定例会 3/24	令和5年度本別町国民健康保険病院事業会計予算	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
定例会 6/14	同意第3号 農業委員会委員任命	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	同意
定例会 9/14	同意第19号 教育委員会委員任命について同意を求める件	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
定例会 9/14	地方財政の充実・強化に関する意見書【提出者：高橋議員】	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
臨時会 11/30	職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
臨時会 11/30	常勤特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
臨時会 11/30	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
定例会 12/5	令和4年度本別町一般会計歳入歳出決算認定	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
定例会 12/5	令和4年度本別町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
定例会 12/5	令和4年度本別町国民健康保険病院事業会計決算認定	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	認定

議長

※賛否の欄 ○：賛成、×：反対・棄権・態度保留、欠：欠席 ※議長は採決には加わりません

議会用語の解説

《専決処分》

本来は議会が議決しなければならぬ案件を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、例外的に町長が議会に代わって意思決定することを、専決処分といいます。専決処分には2種類あり、1つ目は、時間的に議会の招集を待てない場合などの専決処分として、災害復旧のための応急措置予算などがあげられます。

この場合、次の議会で議会への報告と、議会の承認が必要となります。2つ目は、簡易な事項で、あらかじめ議決によって指定している専決処分です。

本町では、全額寄付金負担金を財源とする経費で100万円以下の予算補正や、職員の交通事故による100万円以下の和解及び損害賠償額の決定とこれに伴う予算補正などが定められており、この場合、議会への報告は必要ですが、承認は必要ありません。

総務常任委員会

先進地行政視察（厚真町）

10/31

1. 防災体制

平成30年北海道胆振東部地震において大規模な土砂災害にあった厚真町は、被害の経験・教訓から、災害対策本部の再編成と地区連絡班の任務・編成を見直し、防災訓練を通じて検証・改善を図っています。

2. 防災施策

「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」の普及徹底と、行政は全力で支援することを主眼に各種防災への取り組みを進めています。

3. 主な取り組み

- ①事前防災行動計画を策定し、住民へ周知
- ②自主防災組織を設立した場合、運営費等の補助と必要な防災資機材を無償貸与
- ③災害協定等の新規締結、見直しを行い、将来またいつかは来るであろう災害に備える



- ④備蓄計画を見直し、備蓄品の充実に努める
- ⑤学校における防災教育の推進

まとめ

今後とも、職員の意識改革と危機管理体制等の向上、全町民参加型の避難訓練等を行い、防災意識の普及啓発と自治会を主体としたコミュニティ防災力の強化・推進が必要です。

産業厚生常任委員会

新規就農について

10/24

1. 新規就農への体制と取り組み状況

本別町農業担い手育成センター（農協・改良普及センター・農業委員会・役場農林課で構成）と町内農業者14件で組織される農業担い手受け入れ協議会が連携協力し、支援を行っています。

令和4～5年度は農業体験受け入れや相談

件数も一定数あり、新規就農者も令和2年度から25件となっており、そのうち3件が第三者継承による就農です。

2. 国・町の支援

国による支援のほか、町も独自に条例に基づき補助制度を整備しています。

体験研修旅費補助（旅費の1/2、上限5万円）をはじめ、研修期間中の営農実習補助、家賃補助を行っています。また新規就農後も経営開始補助・固定資産税補助を行っています。

まとめ

農業大学校での講座やキャリアサポートの取り組みにも成果が期待されます。

本町の農業経営者の35%が65歳以上となっている現在、長期的かつ多角的な支援が必要であり、若者が農業を始めたいと思える体制づくりが望まれます。





議会だより ができるまで

議会だよりを
このように作
成しているの
が、その過程
をご紹介します
あ！

第1回委員会

紙面構成、役割分担、スケジュール調整などを行います。



①

町民インタビュー

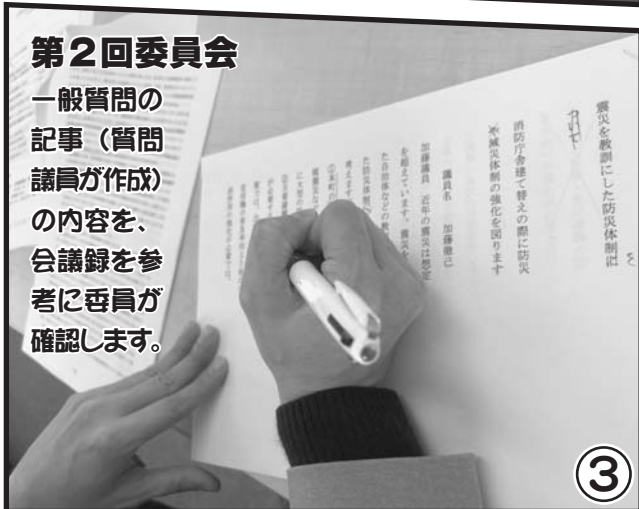
担当者がインタビューをし、記事作成を行います。



②

第2回委員会

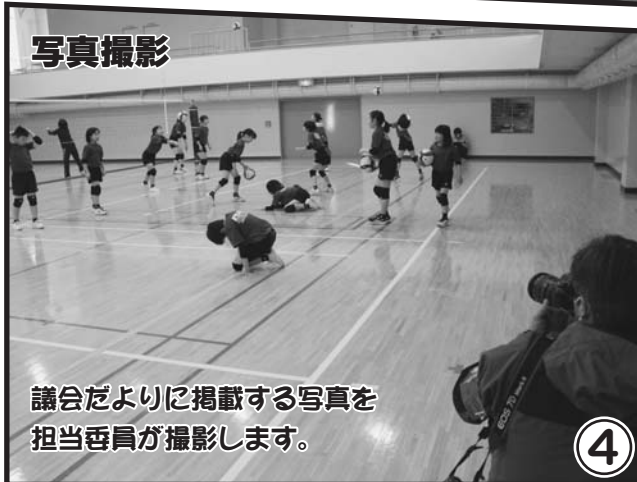
一般質問の
記事（質問
議員が作成）
の内容を、
会議録を参
考に委員が
確認します。



③

写真撮影

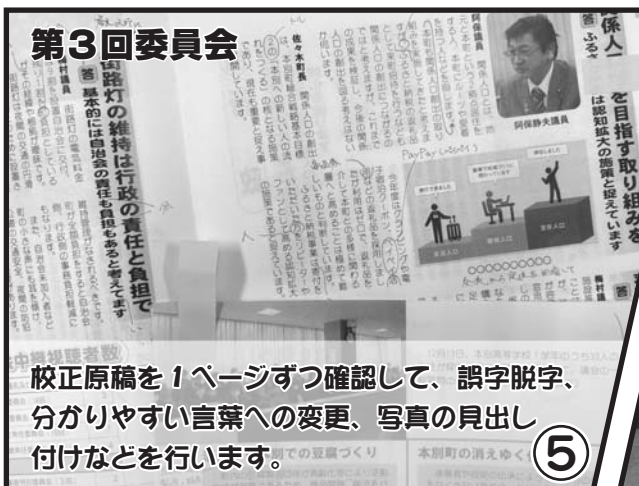
議会だよりに掲載する写真を
担当委員が撮影します。



④

第3回委員会

校正原稿を1ページずつ確認して、誤字脱字、
分かりやすい言葉への変更、写真の見出し
付けなどを行います。



⑤

第4回委員会

できあがった全ての記事の最終確認をします。
印刷は印刷業者へお願いし、ついに完成!!



⑥

行政報告

第4回定例会（12月5日、13日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

令和6年度予算編成方針

本町の財政運営については、これまで、町債の減などにより、各種財政指標の上では健全財政を堅持しているものの、引き続き予算の重点化、効率化を図る中で、経常経費の削減、基金依存の解消、公債費負担軽

写真で見える議員活動

11/2

交通安全啓発「人の波運動」



減などに取り組み、「歳入に見合った歳出」の原則の下、行政諸課題への適切な対応を実現できる持続可能で安定した財政運営に努めたいと考えています。

一般会計の財政規模は、73億円程度を見込んでおり、「第7期本別町総合計画」に基づいた地域活力を維持するための各種事業を着実に推進し、笑顔が輝き続ける本別町をつくりあげるよう、町民の皆さまと協働したまちづくりを展開してまいります。

明治本別工場の生産中止

令和5年12月6日に明治ホールディングスは、別海町西春別工場及び本別工場の老朽化に伴い、中標津町に新工場を建設し、生産体制の再編により本別工場は令和9年9月に生産中止を予定していると発表しました。

酪農業における搾乳の取り扱いにつきましては、これまでと同様のものと捉えてはいるものの、創業から50年以上にわたり基幹産業である農業を支え、また、これまで商工業振興にも貢献をいただいていることから、大きな衝撃を受けているところではあります。

本町といたしましては、本別工場の生産中止による影響等について調査するとともに、12月21日に明治の生産体制再編に伴う対策協議会を立ち上げ、関係団体と協議をしながら、本町経済の維持・発展に資する活動を展開してまいります。

お詫びと訂正

「ほんべつ議会だより」No.107（2023年11月15日発行）において誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

○3ページ 循環バス運行（決算額）
誤）125万4,000円
正）1,254万円

なお、ホームページ掲載の議会だよりにつきましては、訂正後の内容で掲載しております。

議会日誌

〔11月中旬、下旬〕

- 20日 議員協議会
- 27日 一部事務組合議会（帯広市）
- 28日～29日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 30日 第6回臨時会



〔12月〕

- 1日 議会運営委員会
- 5日 第4回定例会開会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会、広報広聴常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 12日 第4回定例会（一般質問）
- 13日 第4回定例会（議案審議）、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 19日 模擬議会（本別高校2学年）
- 28日 広報広聴常任委員会



〔1月〕

- 11日 議会運営委員会、議員協議会
- 15日 広報広聴常任委員会
- 22日 広報広聴常任委員会
- 30日 第1回臨時会、総務常任委員会所管事務調査



次の定例会は

3月5日 開会

12日 一般質問・

ナイター議会を

予定しています



藤戸 大貴さん



山口 暖人さん



南葉 大雅さん



小野 寿莉さん



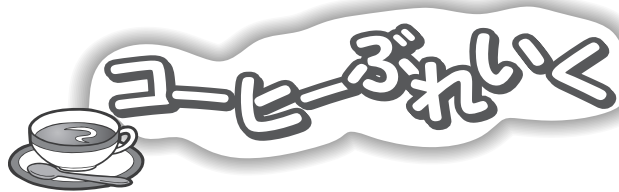
菊池 宥太さん



真鍋 里緒さん

発表は緊張とわくわく
議場での発表を終えての感想を聞くと、「独特の雰囲気があり緊張した」と話す生徒さんもしれば、「普段と違う場所でもわくわくした」と言う強者もいました。発表案から実践まで5つの発表は素晴らしいものでした。

やり切った安心したという皆さんの表情は、それぞれの役割をこなした充足感に満たされていて、とても晴やかに感じました。



今回は、昨年12月に行われた、本別高校2学年の総合的な探究の時間「とかち創生学・模擬議会」で発表を行った生徒のうち、代表して10人にお話を伺いました。

雰囲気がい学校

高校の誇れるところを聞くと、学校内の雰囲気がとてもいいようで、「先生とも距離が近い」「少人数だから個人対応の学習の進め方ができる」などチームワークの良さ、環境の質の高さなどを語ってくれました。先生との関係が良好という生徒が多い印象でした。

本別町は今後どんなまちに

「昔は映画館などの施設もあり、活気にあふれていたが、今は人口減に伴いお店の閉店が増えていく。本別にはいいお店もたくさんあるので、少しでも人口を増やし、お店の存続を」という切実な声や、「屋内の遊べる施設があれば」という若者らしい意見もありました。

将来を語る高校生

最後に将来の夢を尋ねると、「進学後に保育士になりたい」「理学療法士になって十勝に帰ってきたい」「技術を身に付け将来的には本別に戻ってきたい」な

ど、皆さん具体的なビジョンを描いていて、とても頼もしい印象を受けました。人間性を高めたい、仕事を通じて人助けができればという生徒もいました。明るく元気な本別高校生の皆さん、今後の活躍に期待しています！



西久保春稀さん



井原 愛結さん



稲田 連さん



佐藤 瑛斗さん

議会のホームページでは、過去の議会中継や議会だよりをご覧になることができます。



議会中継



議会だより

議会報告会・町民懇談会のお知らせ

今年の議会報告会及び町民懇談会は、秋の開催を予定しています。

詳しい日程等が決まりましたら改めてお知らせいたします。